

今治市ガバメントクラウドファンディング事業「FC 今治 オリジナルデザインマンホール」を制作し、地域の挑戦を 応援しよう！ 共同記者発表 ①

令和6年10月21日

今治市長あいさつ

まずは、記者の皆様、ご多用のところご参集いただきありがとうございます。
うございます。

また、シーズン終盤の大変お忙しい中、株式会社今治・夢スポーツ 代表取締役社長 矢野様には、共同発表にご賛同いただき心から感謝申し上げます。

本日は、J2昇格へ向け厳しい戦いを繰り広げております、我々がFC今治を応援するため、「クラウドファンディングを活用した、FC今治オリジナルデザインマンホールの制作プロジェクト」を立ち上げましたので、FC今治の運営会社である、株式会社今治・夢スポーツ様と共同で発表させていただきます。

まず、先日19日のJ3リーグ首位の「大宮アルディージャ」
とのアウェイ戦におきまして、引き分けという結果、貴重な勝ち

点 1 を積み上げ、本日時点、J3 リーグで 2 位と、J2 自動昇格圏内を維持する結果となっています。

F C 今治 選手・スタッフの皆様には、残り 5 試合、死力を尽くしていただき、今治市内外のサポーターの皆様と共に、歓喜の瞬間を分かち合えることを、サポーターの一人として大いに期待をしております。

さて、ご承知のとおり、F C 今治様にあっては企業理念に基づき、スポーツを通じた交流はもちろんのこと、自然体験学習の開催、FC 今治高等学校の設立やバリ・チャレンジ・ユニバーシティー(Bari Challenge University)による次世代リーダーの発掘、そしてさまざまな地域イベントなどに積極的にご貢献いただくなど、ホームタウン今治市に与える影響はとても大きいと実感しております。

た け し

また、代表を務めます岡田 武史 さまは、2014 年 10 月オーナーに就任され、就任 10 周年の節目となります。

そのような節目もあり、これまでの FC 今治への「恩返し」の気持ちも込めまして、応援プロジェクトを立案させていただくこととなりました。

今回の応援プロジェクトの行政としての目的は、地域社会を支える重要なインフラである下水道事業について、日頃、その存在に目を向けていただけることはあまりないのではないかと思います、そのような当たり前にある下水道の役割を改めて知っていただく“きっかけ”になればと考えております。

先日「合併 20 周年を記念したデザインマンホール」を制作し、その情報を全国発信すると共に、合併 20 周年記念事業におきまして、そのお披露目をさせていただきました。

この取組みに関しまして、多くの方から関心をお寄せいただき、私共といたしましても、デザインマンホールというものが、地域の魅力発信の重要なツールの一つであることを再認識いたしました。

下水道事業が、「縁の下の力持ち」として市民の皆さまの生活を足元から支えているように、F C 今治のホームタウンである本市が、今回のデザインマンホールのプロジェクトも含め、地域の代表として挑戦し続けている、F C 今治を少しでもお支えすることができる、そのような応援プロジェクトを今後も続けていきたいと考えております。

改めまして、今回の「クラウドファンディングを活用した、FC今治オリジナルデザインマンホールの制作プロジェクト」に関しまして、全国の皆様からの温かいご支援・ご協力を賜りますよう、この場を借りてお願いを申し上げます。